



東京学館新潟高等学校 同窓会

GAKKAN DREAM

たちばな会報

TOKYO GAKKAN NIIGATA



謹賀新年



OB・OGの活躍!!

猪又秀和先生(第17回生) 全日本柔道選手権大会出場!



ご挨拶



同窓会長
片桐 努

東京学館新潟高等学校同窓会員の皆様、同窓会長の片桐です。

日頃から同窓会及び学校にご支援いただき、ありがとうございます。おかげさまで、本会報をリニューアルし4号目となります。こうして第14号を発行できた事を嬉しく思います。また、皆様のお手元に届き、目を通していただけていることに感謝いたします。同窓会を代表して厚く御礼申し上げます。

出来る限り多くの同窓会員の皆様に、同窓会や学校の現況を知っていただくために、本会報を充実させようと努力してまいりました。少しでも楽しんでいただき、広く目を通していただけたら幸いです。来年度は本会報の他にも、ホームページやフェイスブック等のSNSの活用により、リアルタイムな情報発信をめざしていきたいと考えています。皆様より忌憚のないご意見をいただけるとありがたいです。

最後に、何らかの理由で本会報がご本人に届かないこともあるかと思いますが、ご家族、知人の方よりお力添えを頂き、一人でも多くの方へお届けいただけたら幸いです。

生きる力を育む



学校長
廣瀬 敬三

新年明けましておめでとうございます。同窓会の皆様の日頃のご支援に感謝を申し上げます。昨年は冬の豪雪から始まり、豪雨水害、猛暑、猛烈台風、北海道地震と自然災害が続き日本各地で大きな被害が発生しました。新しい年が災害のない平穏な一年となることを願っております。

創立三十六年目を迎えた本校の生徒は意欲的に高校生活を送っています。昨年六月の「たちばな祭・夏」と改称した体育大会では、全校生徒が溢れる笑顔で競技と応援パフォーマンスに取り組み姿が感動的でした。九月の「たちばな祭」では、見応えあるクラス企画や部活動企画で来校された二千七百人の方々から東京学館の良さを知っていただきました。部活動で活躍する生徒も多く、学館生は様々な場面で達成感を味わいながら活躍しています。

近年、AIの発達などにより時代が大きく変化することが予想されています。学校でその変化のすべてに対応して教育を行うことは不可能ですが、課題に直面したとき自分で判断し、努力して克服する「生きる力」を育むことは可能です。様々な知識を体系的に学び、先人の思索や生き方を追体験することで困難を切り開く力が身に付きます。そのために、地道に教育実践を続けることが本校の使命でもあります。

また、センター試験に代わる「大学入学共通テスト」の実施など様々な教育改革が進行していますが、校訓「自主・自学」のもとで教養ある自立した社会人の育成を目指して参ります。今後とも皆様のご支援をよりしくお願いいたします。

新年にあたり、同窓会員の皆様のますますのご発展を祈念申し上げます。

同窓会役員

会長	片桐 努 (第1回生)
副会長	今野 健 (第1回生) 中山 栄二 (第3回生)
監事	小林由美子 (第9回生)
会計	出村 忠崇 (第13回生)

事務局 局長	山本 志保 (第1回生)
副事務局 長	徳井 洋子 (第13回生)
事務局 補佐	金田由幸子 (第5回生)
	吉田 健 (第16回生)
	堀 雅剛 (第15回生)
	間藤 一也 (第24回生)

(学年代表)

第1回生	星山 雅一 / 山本 志保	第18回生	北島 利裕 / 阿部香奈子
第2回生	広瀬 貴志 / 永木由紀子	第19回生	斎藤 直人 / 長沼 由珠
第3回生	中山 栄二 / 関根 禎暢	第20回生	北村 泰洋 / 河内 季恵
第4回生	金田 武尚 / 時田 優	第21回生	佐藤 啓 / 高橋 歩
第5回生	金田由幸子 / 渡辺 裕一	第22回生	松崎 孝太 / 渡邊美智恵
第6回生	矢澤 剛 / 大塚 太郎	第23回生	櫛谷 諒 / 増子 綾
第7回生	上田 豪 / 横木 秀多	第24回生	釣巻 英道 / 田中 亜実
第8回生	大橋 慎二 / 渡辺 桂	第25回生	阿部 淳耶 / 渡辺 愛
第9回生	吉田 広秋 / 小林由美子	第26回生	伊藤沙央里 / 斎藤 祐樹
第10回生	権平 勲 / 佐藤 学	第27回生	南 智明 / 平井 香
第11回生	早福 智之 / 岩田 和子	第28回生	金田健太郎 / 長井紅瑠実
第12回生	梁取 幸恵 / 菊地 大	第29回生	元村 厚太 / 小熊 秋奈
第13回生	出村 忠崇 / 徳井 洋子	第30回生	茂田井隆太 / 笹川 花
第14回生	玉木 純也 / 新田さとこ	第31回生	近 光 / 加藤 稚菜
第15回生	田辺 智広 / 北嶋 翼	第32回生	佐藤 和洋 / 中野 鈴奈
第16回生	吉田 健 / 山上由香理	第33回生	北條 有紗 / 中田麟太郎
第17回生	山崎 晋 / 矢部 典子		

同窓会役員を紹介します



事務局補佐	金田由幸子 (五回生)	副事務局長	徳井 洋子 (十三回生)	事務局 長	山本 志保 (一回生)	副会長	今野 健 (一回生)	会長	片桐 努 (一回生)	副会長	中山 栄二 (三回生)	監事	小林由美子 (九回生)	会計	出村 忠崇 (十三回生)	事務局補佐	吉田 健 (十六回生)
-------	-------------	-------	--------------	-------	-------------	-----	------------	----	------------	-----	-------------	----	-------------	----	--------------	-------	-------------

平成29年度 東京学館新潟高等学校同窓会 【収支決算報告書】	
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)	
(収入の部)	
会費 (全学年月額400円)	5,993,600 円
奨学金返金 当年該当なし	0 円
雑収入 同窓会総会・懇親会会員負担金	81,000 円
(新潟県よ) 同窓会会報誌封入、Uターン推進チラシ補助金	50,000 円
剰余金積立額取崩	
学園協力金積立額取崩	500,000 円
合 計 (1)	6,624,600 円
(支出の部)	
①卒業生子弟入学補助 (23名)	1,150,000 円
②同窓会会報誌 制作・発行費	1,628,799 円
③総会・懇親会開催費用 (関東支部含む)	1,287,696 円
④語学研修経費負担金	0 円
⑤同窓会名簿メンテナンス	43,200 円
⑥野球部応援広告 (甲子園/朝日・毎日)	37,800 円
⑦運営費用	
・役員会開催費用	124,864 円
・会員慶弔費	0 円
・教職員慶弔費	20,000 円
・協賛金・寄付金等	10,000 円
・振込手数料	2,872 円
・その他	27,520 円
⑧学園協力金拠出	500,000 円
合 計 (2)	4,832,751 円
※ 当年度収支 (1)-(2)	1,791,849 円

平成30年4月1日
東京学館新潟高等学校同窓会

以上のとおり報告いたします。
上記、事実と相違ないことを証明いたします。

会長 片桐 隆志
監査 小林 由美子

平成30年度 東京学館新潟高等学校同窓会 【収支予算案】	
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)	
(収入の部)	
会費 月額400円×1,349人×12ヶ月	6,475,200 円
奨学金返金	0 円
雑収入	
同窓会総会 会員負担金	150,000 円
新潟県 同窓会会報誌封入、Uターン推進チラシ補助金	50,000 円
剰余金積立額取崩	
学園協力準備金取崩	700,000 円
合 計 (1)	7,375,200 円
(支出の部)	
①卒業生子弟入学補助 (22名)	660,000 円
②同窓会会報誌 制作・発行費	1,800,000 円
③総会開催費用 (新潟・関東)	1,500,000 円
④語学研修経費負担金	60,000 円
⑤同窓会名簿メンテナンス	43,200 円
⑥野球部応援広告 (甲子園/朝日・毎日)	37,800 円
⑦運営費用	
・役員会開催費用	200,000 円
・地方支部 発足及び運営調査費	150,000 円
・その他	150,000 円
⑧学園協力金拠出	700,000 円
合 計 (2)	5,301,000 円
※次年度収支予定 (1)-(2)	2,074,200 円

平成30年4月1日
東京学館新潟高等学校同窓会

以上のとおり伺い申し上げます。

会長 片桐 隆志
監査 小林 由美子

上記予算案について公正妥当であることを証明します。

平成29年度同窓会事務局 主な活動について

平成29年度同窓会事務局 主要活動(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

開催日	会議名	開催場所	議題・備考
平成29年 6月 8日	同窓会役員会	新潟市中央区「きた山」	活動総括及び次年度活動承認 他
平成29年 9月29日	同窓会総会・「たちばな会」開催	新潟市中央区「Plus 3rd」	活動総括・次年度計画承認 他
平成29年 4月18日	同窓会事務局 役員ミーティング	東京学館新潟高等学校	年間活動計画・予算審議 他
5月30日	//	//	定例役員会に係る事前協議 他
7月 4日	//	//	同窓会総会に係る事前協議 他
10月16日	//	//	同窓会報誌・支部活動に係る協議
11月16日	//	//	同窓会 会費運用について
12月 5日	//	//	同窓会報誌発行について



平成29年度同窓会総会より (平成29年9月29日・新潟市)



同窓会事務局役員ミーティングより

学館人

(がっかんびと)

vol.4

同窓生紹介します

1986年に第1回生が卒業して32年が経ち、1万人余りの同窓生がさまざまな分野で活躍をしています。

学館人VOL.4は、第1回生の中村寿和さんをご紹介します。



◎高校時代の思い出

当時の学館は校舎が半分しか完成していない状態でした。学校が創立して間もないこともあって、先生と生徒との距離感はとても近く感じていましたね。担任の石山先生は、授業中はとても厳しかったですが、放課後になると気さくに生徒に話しかけてくださったり、時には親身になって相談を受けてくださったり、とてもフレンドリーでした。

◎高校卒業後に「乗り物」と進んだ道

学館を卒業してからは、地元の短期大学に進学し、自動車の整備について学びました。

昔から「乗り物」が好きで、その当時は高校の友人と弥彦山スカイライン等へよくツーリングに行きましたし、車の修理も自分でしていました。

また、短大の仲間同士でチームを組み、レースにも出場していました。レースの練習走行で大けがを負ったこともありましたが、家族や仲間の支えもあって、長期療養を経てレースの舞台に復帰することが出来ました。レースに出場するためにスポンサー探しに自ら動く中で、自動車に関わる仕事に魅力を感じ、携わりたいと思うようになりました。

◎仕事の傍らで「レーサー」としても活躍

短大を卒業後は自動車関連の企業に就職し、四輪車の関連部門に携わりました。その一方で、プライベートでも「乗り物好き」が続いていて、ジムカーナの競技車を普段から愛用し、学生時代のようにレースにも出場していました。自分で企画書や戦績を持ち込み、スポンサー探しの売り込みも続けていて、1997年にプロレーサーとしてデビューしました。フォーミュラカーでは上位入賞したこともありましたが、それから複数の大会に参戦して、レーサー



として引退する2000年に、つくばサーキットで行われたレースで優勝を果たしました。

◎レーサー引退と「指導者」への道

レーサーとして一区切りをつけるとともに、自動車関連の企業を退職し、自動車学校で教官として務めていました。その当時、新潟工科専門学校から講師として迎えたいと声をかけて頂いたのですが、自動車学校で運転技術を教えることに魅力を感じていたので、正直悩みました。

その後、新潟国際自動車大学校（GIA）の前身となる学校が開校される際、あらためてオファーを頂いたことを機に、全国初の「モータースポーツ科」講師として教壇に立つこととなりました。

開校当初は10数人ほどだった生徒も年々増えて、今では全国各地から学生が集まり、レースに参戦できる学校として広く認知されています。大手自動車メーカーの開発部門や関連企業への就職とともに、近年レース業界に新規で就職する5割以上を教え子たちが占めるなど、業界の第一線で活躍する姿は指導者としても誇りに思っています。

◎スピードパーク新潟の設立と

アルビレックスレーシングチーム旗揚げ

モータースポーツの講師として指導する中、次第に「地元からプロレーシングドライバーを輩出したい」そう思うようになりました。2007年より準備を始め、翌年には運転実習所として、「スピードパーク新潟」を胎内市に開業させました。

施設面積は約4.7ヘクタール、全長約1,000メートルのストレートを有するカートレース場であるこの施設は、レーシングドライバーの育成に留まらず、介護ドライバーに向けた運転講習会を開催するなど、運転技術の向上や安全の普及啓発を幅広く行っています。

また、開業には地元・胎内市をはじめ多くの方々

から支援の声を頂きました。その様な縁もあって、2010年にアルビレックスレーシングチーム設立に参画し、現在はチーム代表を務めています。

新潟を拠点にしたフォーミュラレースのプロチームではありますが、普段はそれぞれに他の仕事を持ちながら、レース開催に合わせて土曜日の予選、日曜日の決勝レースへ参戦しています。練習体制は月1回の練習が出来るかどうかの厳しい環境ですが、各々の時間を削りながら、合間を縫って練習を重ね上位入賞を目指しています。

◎同窓生に向けたメッセージ

「夢はあなたから逃げない。あなたが夢から逃げていく」これを同窓生の皆さんにお伝えしたいと思います。



プロフィール

中村寿和さん

- ・株式会社スペースアート 代表取締役社長
- ・株式会社スピードパーク新潟 代表取締役社長
- ・アルビレックスレーシングチーム
<http://www.albirex-racing-team.jp/>
- ・開志学園高等学校 モータースポーツ専攻 顧問
- ・新潟国際自動車大学校(GIA) モータースポーツ科 アドバイザー



好きな事はとことん追求し続けて、決してそれを止めないことです。そうすれば「転機」と「転機」が重なりあつて、新しいフィールドに導かれる機会が訪れます。それは、好きな事を一生懸命やり抜く人にならなければならないのだと思います。人生は一度きりしかありません。だからこそ、好きな事をとことん打ち込める時こそ、全力で打ち込み、夢を追い求めてみてください。

なつかしい

恩師の先生方からのメッセージ



保健体育科
和田 昭典 先生

東京学館の36年間

東京学館新潟高等学校は創立から36年目を迎えています。日常の変化の激しさについていけない毎日私は過ごしています。卒業生の皆様は、変化の荒波の中でさぞたくましく生きている事と思います。

この36年を振り返って思いだされるのは、楽しかった事ばかり、それも非日常の活動の思い出が鮮明に出てきます。特に、旧Aコースのキャンプ実習で、五頭山・飯縄山・火打山・妙高山・高妻山などの山に登った事です。元気な生徒達と、時には体力の限界近くまで追い込まないと登れない山もありましたが、山頂に立った時の達成感と充実感を十分味わって帰って来ました。

また、旧Bコースの生徒達と角田山に登った事も良く覚えていますが、普段運動していない生徒も多くいましたが、福井登山口からゆっくり歩いて山頂に立ちお弁当を食べ、下山は岩場を越えて日本海に向かって灯台口へ。下山後はへとへとになりながらも、疲れた足を浜辺の波にさらしながらはしゃぐ生徒達がたくさんいました。A・B両コースの生徒達に聞くともう二度と登りたくないと言った人が言い、「残念だけれど、だからこそ良い体験だった」と私は思っています。

高校生の本分は学習、社会人の本分は自らのなすべき事をなすこと。普段の行いが正しければ正しいほど非日常の感激の出来事が楽しい思い出として残る。さあお互いに日常をまず正々堂々と生きよう。そして楽しい体験に期待しよう、お互いに。



地歴公民科
外山 和彦 先生

「感謝」

卒業生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。このところ毎年のように、新入生の保護者となった卒業生の人たちに再会し、年月の流れをひしひしと感じております。私が本校に勤務を始めたのは開校2年目からですから、もう三十五年も前になります。その後、三回生に始まって、六・一八・二二・二七回生の卒業に担任として立ち会いました。今思えば、若い頃は至らぬことが多く、当時の生徒の皆さんには申し訳なく思っています。

この三十五年の間、自分の専門である歴史の授業は、楽しくやらせていただきました。授業を受けてくれた卒業生の皆さんには、心からありがとうございます。歴史を学ぶことは、人の世を考えると、すべての人にとって欠かせない学習の事です。卒業後も皆さんが学び続けてくれることを願っています。

この三十五年の間に、高校生の気質も変化したように感じます。最近の高校生は素直で大人しい生徒が多いのですが、やや元気が足りないようにも思います。対して昔の高校生のほうが活気に溢れていたような気がします。今ここで文字にはしませんが、当時の元気な生徒の皆さんとの、様々な出来事が懐かしく思い出されます。

私の教員人生も、あと数年で終わりになります。縁あってこの学校に勤め、素晴らしい生徒たちとめぐり合い、ありがたい教員生活を送らせていただきました。改めて卒業生・生徒の皆さんへの感謝の気持ちを申し上げます。ありがとうございます。



国語科
秋元 貞治 先生

「学館生の誇りを胸に」

同窓会の皆さん、お元気ですか。東京学館新潟高等学校は今年三十六回目の入学生を迎えましたが、学館の先生方は変わることなく、日々情熱を持ってパワフルに生徒とふれあっています。この文章を書いている今日も、第一教員室は石山先生を中心に活気があります(笑)。

私は現在、二年生のA1文コース(国公立大学文系進学クラス)の担任と書道部顧問、そして生徒会の顧問を主に務めています。東京学館は進学面において、年間での国公立大学合格者数が六十名となるほどの進学校に成長してきました。書道部も、内閣総理大臣賞や文部科学大臣賞を初めとした全国展での入賞、パフォーマンスでは「NHKスクールライブショー」での全国優勝や「フジテレビ」二十七時間テレビでのパフォーマンスなど、輝かしい実績を上げることのできる部活動に成長してきました。また、書道授業で始まった短歌制作が、田村裕先生のご尽力で全国トップの実績を残すまでになり、報道でご存じの通り「歌会始の儀」に毎年ように入選者が出るなど、文化の薫り高い学校になってきていると思います。生徒会活動も年々充実しており、平成三十年度たちばな祭・秋(文化祭)では過去最高の三千名近くの来校者を集める魅力ある学校になってきました。

私が生徒として在籍していた頃から二十年以上が経過し、今は教員という立場で学館を見つめています。年々成長していく母校を心から誇らしく思います。卒業生の皆さんも、是非一緒に同窓生としての誇りを持って学館を応援して下さい。皆さんの応援が母校の更なる発展に繋がっていくものと強く信じています。

卒業生(第33回生)の進路状況

	四年制大学	短期大学	専門学校	各種学校	職業訓練施設	就職・公務員	予備校・その他	合計
男子	148	3	22	0	2	10	13	198
女子	113	13	39	0	1	3	4	173
合計	261	16	61	0	3	13	17	371



第33回生
 現役大学進学者数277名
 現役国公立四年制大学合格者数46名
 (現役大学進学達成率95.9%)

進路

学館のいま

こうはいたち

主な大学合格先

※()は今春の現役のみ合格者数

国公立大学

- 東北(1)、秋田(2)、福島(1)、山形(2)、新潟(10)、長岡技術科学(1)、金沢(1)、信州(1)、山梨(1)、静岡(1)、大阪教育(1)、琉球(2)、首都大学東京(1)、釧路公立(1)、秋田県立(3)、宮城(1)、群馬県立女子(1)、新潟県立(7)、新潟県立看護(1)、福井県立(1)、公立小松(2)、長野県看護(1)、都留文科(1)、長崎県立(1)

私立大学

- 東京理科(3)、明治(2)、中央(1)、法政(1)、立命館(2)、関西学院(2)、関西(1)、成城(1)、明治学院(2)、國學院(2)、龍谷(1)、京都女子(1)、日本(7)、東洋(19)、専修(7)、駒澤(4)、京都産業(1)、芝浦工業(1)、神田外語(1)、玉川(2)、立正(5)、大正(7)、大東文化(14)、東海(6)、亜細亜(1)、帝京(5)、国士館(3)、拓殖(4)、桜美林(1)、杏林(3)、高千穂(1)、明星(1)、和光(1)、東京工芸(3)、実践女子(2)、鎌倉女子(1)、文教(4)、日本体育(1)、北里(1)、神奈川(5)、関東学院(12)、城西(13)、淑徳(4)、城西国際(5)、新潟医療福祉(44)、新潟国際情報(19)、新潟薬科(15)、新潟工科(9)
- 他多数

部活動の活躍 (平成30年度)

陸上競技・男子テニス・フェンシング・新体操インターハイ出場

北信越総体

- 陸上競技
 - 男子200m ③ 加藤翔太
 - 男子110mH ③ 多川恭輔
 - 男子4×100mR ② 菅原悠太・稲毛碧・加藤翔太・平田勇晟

新潟県高等学校総合体育大会

- 男子テニス
 - 団体優勝 池田笑生・山口駿・川崎理比人・佐藤大耀・高沢峻平
 - シングルス優勝 池田笑生
 - ② 山口駿 ③ 植木海音
 - ダブルス優勝 佐藤大耀・皆川将也
 - フェンシング
 - 男子団体優勝 稲垣恵人・野中開・貝沼拓実・石附伶旺
 - 男子フルレ優勝 稲垣恵人
 - ② 貝沼拓実
 - 男子エペ優勝 稲垣恵人
 - 男子サーブル優勝 野中開
 - 女子サーブル優勝 石黒結

新体操

- 団体戦優勝 和田夏果・古俣遥・山崎結城乃・藤宮美咲・北見雪妃乃・仲ちひろ・石山菜・加藤菜

スポーツクライミング

世界大会出場決定!

IFSCクライミングワールドカップ(L, S)アルコ

- 出場 栗田湖有
- IFSC世界ユース選手権モスクワ2018
- 出場 栗田湖有
- ポルダリンフェニス日本選手権鳥取大会
- ⑤ 栗田湖有

北信越総体出場

陸上競技、男子テニス、フェンシング、男子バレーボール、体操

県総体出場

サッカー、陸上競技、男子バレーボール、女子バレーボール、男子バスケットボール、女子バスケットボール、男子テニス、女子テニス、フェンシング、新体操、柔道、剣道、レスリング、ダンス、体操



平成30年6月3日掲載 男子ダブルス決勝 優勝した東京学館の佐藤と皆川 新潟日報



平成30年11月5日掲載 男子バレーボール 県大会優勝 新潟日報

TOPICS

たちばな会

～平成30年度「たちばな会」開催～

平成30年8月25日、平成30年度「たちばな会」(同窓会懇親会)を新潟市内で開催しました。多くの同窓生と共に懐かしの恩師が集い、高校時代の思い出とともに近況などを楽しく語り合いました。



※来年度は2019年10月下旬に開催予定です。皆様のご参加をお待ちしています!

新役員紹介

同窓会事務局では活動をさらに盛り上げるため、新たに2名の同窓生を学年役員として迎えましたのでご紹介します。

第15回生

堀 雅嗣さん

第15回生の堀です。家庭用品のメーカーに勤める傍らで、地元で農業もがんばっています! 同窓会活動にイノベーションを起こせるように頑張ります。



第24回生

間藤 一也さん

第24回生の間藤です。同窓生が気軽に参加出来る場所を作りたいと思っています。宜しく御願います。



掲示板

書道部・書道コース・書道選択者 校外展のご案内

全国書道展への出品作品や自詠短歌を書き作品にしたものなど、多種多様な作品を展示します。また書道部は書道パフォーマンスの大書を披露します。

第17回書道部OB展

場所 / 新潟県民会館3階ギャラリー 1階情報ラウンジ
日時 / 平成31年2月2日(土)～3日(日) 9時～17時(最終日15時終了)
問い合わせ先 / 書道科: 田村 裕先生 桑原正明先生 秋元貞治先生

同期会や部活動OB会の開催告知や活動報告、その他同窓生に向けた情報発信がございましたら、こちらの「掲示板」をぜひご利用ください。

春の高校バレー

第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会に男子バレーボール部が出場します。
平成31年1月5日開幕!

バレーボール部OB戦

毎週水曜日、19時～21時 (体育館) ぜひ、お気軽にお越し下さい!

吹奏楽部 定期演奏会のご案内

東京学館主催による市内中学校との合同演奏会です。
平成31年3月24日(日)「第10回 Swan * Winds in Brass」
会場 新潟テルサ(入場無料) 開演時間 14時

同窓会事務局からのお知らせ

～同期会の開催をサポートします!～

同期会(卒業年次別の同窓会)を開催しませんか?同期会の運営をサポートします。お気軽に同窓会事務局までご相談ください。

～同窓会員の子女のご入学にはお祝い金を贈呈しています～

同窓会員の子女が母校に入学された際には、同窓会より入学祝金3万円を贈呈致します。入学時に学校事務局より案内していますのでお問い合わせください。

～独立やお引越しの際はご連絡ください～

お住まいのお引越しや独立による転居の際には、同窓会事務局までお知らせください。引き続き同窓会活動や母校の情報をお届けいたします。

～同窓会事務局 公式SNSにぜひ登録ください～

Facebook (フェイスブック)
同窓会グループはこちらからどうぞ ▶▶▶
もしくはグループ「TGN 東京学館新潟高等学校同窓会」を検索してください。



NEW! LINE 公式アカウントも開設しています
東京学館新潟高等学校同窓会公式LINEはこちら ▶▶▶



～東京学館新潟高等学校ではHPを開設しています。～

母校の近況から入試情報まで様々な情報が掲載されています。

東京学館新潟

検索



編集後記

「たちばな会報」発行も今回で第四号となり、同窓生より励ましや感想を寄せて頂く機会も徐々に増えて頂いています。新潟県の内外を問わず、各地で元気に活躍する同窓生と皆さまの様子をお届けするとともに、卒業年次による「同期会」や「クラス」部活動などによる同窓生のつながりや活動についても、情報をお届けすることで、同窓会活動を皆さまと身近に感じ上げて頂きます。機会がありましたら、是非ご紹介ください。また、同窓会活動や会報についてのご意見、ご要望も是非お寄せください。最後に、今号発行に多大なご協力を賜りました学校関係者の皆さま、同窓生の皆さまに厚く御礼申し上げます。

編集長 吉田 健
スタッフ 徳井 小林 金田 間藤